



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日  
東

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所  
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,313	3.7	662	18.8	676	18.6	438	12.2
2019年3月期第2四半期	5,125	5.3	557	1.1	570	1.0	390	3.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 519百万円(30.9%) 2019年3月期第2四半期 396百万円(1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	133.86	—
2019年3月期第2四半期	118.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,705	12,905	76.1
2019年3月期	16,814	12,643	74.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,707百万円 2019年3月期 12,448百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭  
 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,100	2.5	1,330	2.4	1,350	2.3	910	4.5	266.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	3,420,000株	2019年3月期	3,420,000株
2020年3月期2Q	157,220株	2019年3月期	117,220株
2020年3月期2Q	3,272,835株	2019年3月期2Q	3,302,823株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税率の引き上げに伴う消費動向への影響や、米中貿易摩擦の長期化、中国経済の動向による海外経済の減速懸念などから、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

医療・介護・福祉業界は、高齢者人口の増加を背景とした需要の増大とニーズの変化に対応すべく、医療機能の分化と連携、ICT化推進などの効率化が求められております。

このような環境のもと当社グループは、引き続き営業力の強化に注力するとともに、医療・介護・福祉等の現場で、蓄積した各種ノウハウを活用し、多様化する顧客ニーズに即した迅速な対応に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は5,313百万円（前年同四半期比3.7%増）、連結営業利益は662百万円（前年同四半期比18.8%増）、連結経常利益は676百万円（前年同四半期比18.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は438百万円（前年同四半期比12.2%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## ①医療用ガス関連事業

当部門は、日帰り手術の増加等医療技術の進歩や医療機関数の減少、DPC（包括医療制度）導入病院の増加などを背景として、医療用酸素ガスの消費量が年々減少傾向にある厳しい事業環境が続きました。このような環境のもと、災害発生時も含め24時間緊急対応が可能な医療用ガスの供給体制を再構築し、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は1,667百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益は161百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

## ②在宅医療関連事業

当部門は、国の在宅医療推進施策を受けて、患者様と医療機関のニーズに対応するとともに、学会や院内でのPR活動を通じ、きめの細かい営業活動を継続いたしました。医療需要の伸びが顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）が順調に推移したほか、自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）」が、市場への浸透と新規顧客の獲得に貢献いたしました。

また、次世代ヘルスケアとして、情報通信機器を用いたさまざまな医療サービスが期待されるなか、医療従事者と患者様の新しい架け橋として、また、医師不足や遠隔地等、急速に高まる医療需要への対応として「オンライン診療システム」の提供を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は2,270百万円（前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益は348百万円（前年同四半期比24.8%増）となりました。

## ③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療用ガス設備工事、メンテナンスと医療機関への消火設備工事の施工管理をおこなっております。

医療用ガス設備工事は、建設資材の高騰などから新規・増築計画の延期、凍結が継続し、消火設備工事の補助金事業も需要が一巡した状態にあり、事業環境は厳しい状況で推移しました。このような環境のもと、自社施工を推進するなど施工コストの低減と顧客ニーズに対応した丁寧な施工に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は413百万円（前年同四半期比3.3%増）、セグメント利益は68百万円（前年同四半期比244.8%増）となりました。

## ④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売と訪問看護・居宅支援事業所の運営管理をおこなっております。介護福祉関連機器は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動に加え、カタログなど販促ツールを刷新し拡販に努めたことなどから堅調に推移しました。

訪問看護・居宅支援事業所「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）は地域における認知度のアップと顧客ニーズの把握と対応、専門職の人員拡充など運営体制の強化を図りました。

これらの結果、売上高は358百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比58.8%減）となりました。

## ⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホームと通所介護施設の運営管理をおこなっております。有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）は、24時間看護師在駐、地元医療機関との連携、イベントの開催や地元住民の方々との交流を通じた付加価値サービスの提供を進め、あわせて、人材の確保・育成体制の強化に注力いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、入居者様、ご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めました。

通所介護施設「あしつよ・文京」(東京都文京区)「あしつよ 巣鴨」(東京都豊島区)「あしつよ 王子」(東京都北区)は、地元密着のサービスの提供と顧客ニーズの多様化に応じ、稼働率アップに努めました。これらの結果、売上高は170百万円(前年同四半期比3.0%増)、セグメント損失は1百万円(前年同四半期セグメント損失14百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は16,705百万円(前連結会計年度末比108百万円減)となりました。これは主に、建物及び構築物が285百万円、土地が953百万円、投資有価証券が130百万円増加し、現金及び預金が1,073百万円、受取手形及び売掛金が369百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,799百万円(前連結会計年度末比370百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が294百万円、流動負債その他のうち未払費用が57百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は12,905百万円(前連結会計年度末比262百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が339百万円、その他有価証券評価差額金が81百万円増加し、自己株式が157百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,436,383	7,362,453
受取手形及び売掛金	2,233,299	1,863,393
たな卸資産	96,247	94,542
その他	78,988	72,111
貸倒引当金	△4,762	△3,616
流動資産合計	10,840,156	9,388,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	672,491	958,159
土地	2,370,654	3,323,904
その他(純額)	1,225,188	1,272,121
有形固定資産合計	4,268,334	5,554,185
無形固定資産		
投資その他の資産	16,915	15,787
投資有価証券	886,100	1,016,848
その他	809,516	739,132
貸倒引当金	△6,786	△9,215
投資その他の資産合計	1,688,829	1,746,765
固定資産合計	5,974,080	7,316,737
資産合計	16,814,236	16,705,621
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,907,444	1,612,705
未払法人税等	221,763	223,784
賞与引当金	111,400	130,000
その他	981,205	890,209
流動負債合計	3,221,813	2,856,699
固定負債		
役員退職慰労引当金	461,610	469,290
長期預り金	—	5,242
その他	487,076	468,400
固定負債合計	948,686	942,932
負債合計	4,170,499	3,799,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	11,494,215	11,833,245
自己株式	△201,450	△359,250
株主資本合計	12,242,653	12,423,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,268	262,333
退職給付に係る調整累計額	24,749	21,362
その他の包括利益累計額合計	206,017	283,695
非支配株主持分	195,066	198,410
純資産合計	12,643,737	12,905,989
負債純資産合計	16,814,236	16,705,621

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,125,986	5,313,196
売上原価	2,502,684	2,530,603
売上総利益	2,623,301	2,782,593
販売費及び一般管理費	2,065,799	2,120,269
営業利益	557,502	662,324
営業外収益		
受取利息	1,437	1,408
受取配当金	10,553	12,960
その他	4,804	7,012
営業外収益合計	16,795	21,380
営業外費用		
支払利息	3,835	7,134
営業外費用合計	3,835	7,134
経常利益	570,462	676,570
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	18,704
ゴルフ会員権売却益	—	74
特別利益合計	—	18,778
特別損失		
固定資産売却損	—	421
固定資産除却損	108	32,932
ゴルフ会員権評価損	—	11,500
特別損失合計	108	44,853
税金等調整前四半期純利益	570,353	650,494
法人税等	177,044	208,337
四半期純利益	393,309	442,157
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,828	4,044
親会社株主に帰属する四半期純利益	390,480	438,113



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	393,309	442,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,682	80,562
退職給付に係る調整額	△2,291	△3,584
その他の包括利益合計	3,391	76,978
四半期包括利益	396,700	519,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,458	515,791
非支配株主に係る四半期包括利益	1,242	3,344

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,656,836	2,181,689	399,993	341,582	166,022	4,746,123	379,862	5,125,986
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	46,265	—	—	46,265	—	46,265
計	1,656,836	2,181,689	446,258	341,582	166,022	4,792,389	379,862	5,172,251
セグメント利益 又は損失(△)	165,979	278,876	19,968	53,556	△14,944	503,436	54,065	557,502

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	503,436
「その他」の区分の利益	54,065
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	557,502

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,667,932	2,270,218	413,382	358,785	170,937	4,881,255	431,941	5,313,196
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	45,314	—	—	45,314	—	45,314
計	1,667,932	2,270,218	458,696	358,785	170,937	4,926,570	431,941	5,358,511
セグメント利益 又は損失(△)	161,786	348,037	68,842	22,066	△1,991	598,741	63,582	662,324

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	598,741
「その他」の区分の利益	63,582
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	662,324

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。